# 薬王堂北茨城中郷店 交通予測結果

# 1 対象店舗の概要

図表 1-1 に、予測対象店舗の概要を示す。

図表 1-1 予測対象店舗の概要

店舗名	薬王堂北茨城中郷店
店舗面積	1, 239 m²
営業時間	7:00~쪞 0:00
駐車場を利用できる時間帯	6:30~翌 0:30
駐車場運用計画	出入口3箇所
来客車両経路の予測方法	来客範囲における世帯数分布から来客車両経路を予測し、店舗
及び検討内容	出入口の交通処理能力及び周辺交通環境への影響を検討する。
備考	_

# 2 自動車来台数の予測

図表 2-1 に、必要駐車台数及び自動車来台数の予測結果を示す。

図表 2-1 必要駐車台数の予測結果

	事項	Ī	事項算出のための計算式等(指針による)
	用途地域(地区区分)	用途地域無指定 (その他地区)	北茨城市の人口 38,694人(2025.5.1/北茨城市ホームページ)
S	店舗面積	1.23900 千㎡	
А	店舗面積当たりの 日来店客数原単位	1,062.83 人/千㎡	人口10万人未満・店舗面積5,000㎡未満・その他地区 1,100-30S
В	ピーク率	14.4 %	
L	駅からの距離	- m	300m以上
С	自動車分担率	80 %	人口10万人未満/その他地区 80%
D	平均乗車人員	2.000 人/台	店舗面積10,000㎡未満 2.000人
Е	平均駐車時間係数	0.614	店舗面積10,000㎡未満 (30+5.5S)/60
	1日の自動車来台数	527 台/目	$A \times S \times C \div D$
ŀ	ピーク時間の自動車来台数	76 台/ピーク時間	] (1日の自動車来台数:A×S×C÷D)×B
	必要駐車台数	47 台	(ピーク時間の自動車来台数:A×S×C÷D×B)×E
	計画駐車台数	47 台	駐車台数は、必要駐車台数を満たしています。

# 3 来客経路の予測

# 3.1 予測方法

下記の手順で来客経路を予測した。

① 来客分布範囲の設定

来客分布範囲は店舗を中心に半径2km程度とした(図表3-1参照)。

② アクセス経路の設定

周辺の主要幹線道路を経由して来店するとした(図表 3-3 参照)。

③ 来客分布範囲の分割(ゾーニング)

来客分布範囲内を方面別に分割した。(図表 3-1 参照)。

④ 方面別世帯数構成比の推計及び方面別ピーク時間自動車来台数の設定 図表 2-1 で算出したピーク時間の来台数に、方面別世帯数構成比を乗じて方面別ピーク時間来台数を算出した(図表 3-2 参照)。

図表 3-2 方面別世帯数構成比及び方面別自動車来台数

	世帯数 (世帯)	世帯数構成比	来台数 (台/ピーク時間)
ゾーンA	1, 101	27. 45%	21
ゾーンB	182	4. 54%	3
ゾーンC	1, 145	28. 55%	22
ゾーンD	551	13. 74%	10
ゾーンE	1, 032	25. 73%	20
計	4, 011	100.00%	76

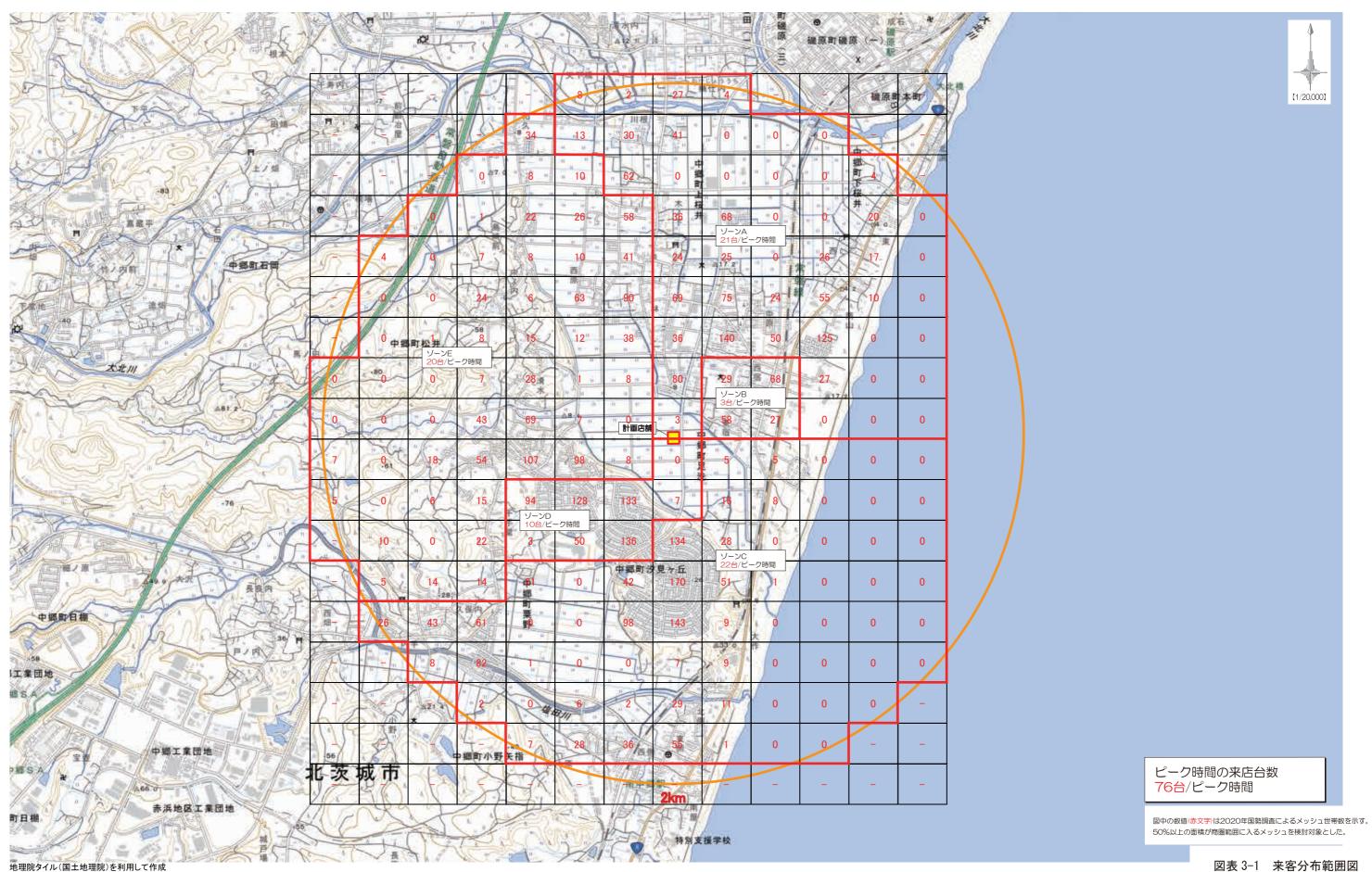
<sup>※</sup>世帯数は、2020年国勢調査結果等による。

#### ⑤ 方向別自動車来台数の設定

方面別自動車来台数をその方面を分担するアクセス経路に割り振り、店舗周辺における来客の自動車来台数·退店台数を推定した。

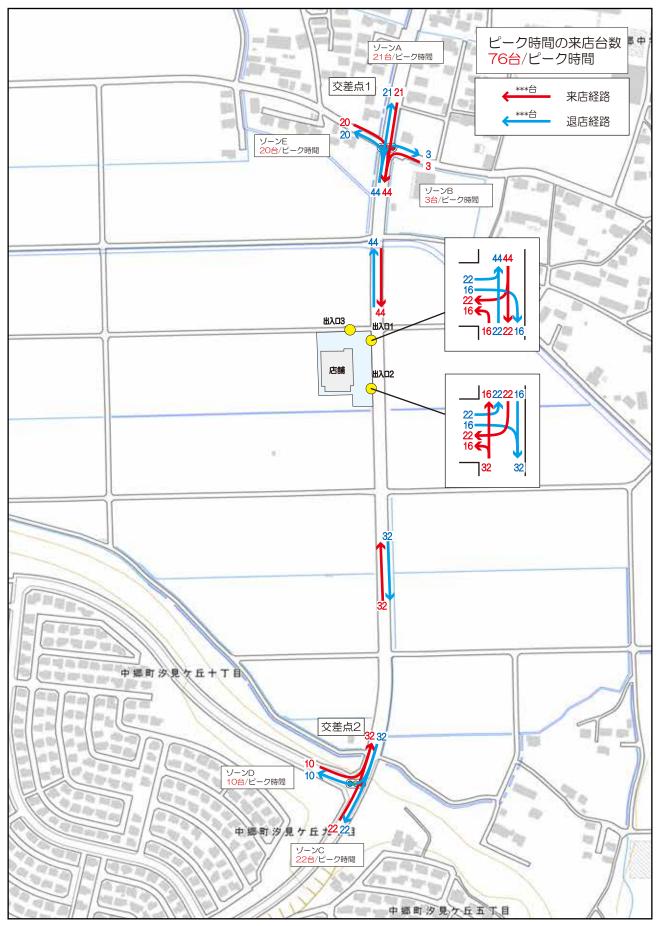
#### 3.2 予測結果

店舗周辺の来店退店経路及び走行台数の予測結果を図表 3-3 に示す。



図表 3-1 来客分布範囲図 ゾーン分割図

交通-4



地理院タイル(国土地理院)を利用して作成

図表 3-3 来退店経路図

# 4 周辺交通への影響評価

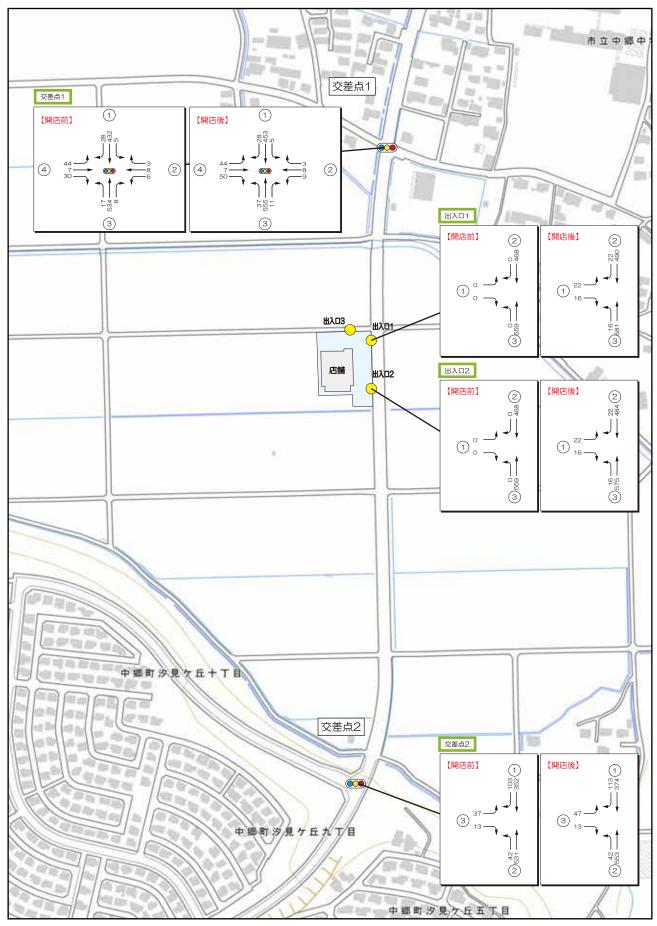
# 4.1 交通量の設定

図表 4-1~図表 4-3 に、交通量の設定根拠、開店前交通量(現況交通量実測値)、開店 後交通量(開店前交通量+開発交通量)を示す。

交通量調査は、店舗の営業時間及び周辺道路交通量のピーク時間を考慮し、6:00~21:00 に実施した。

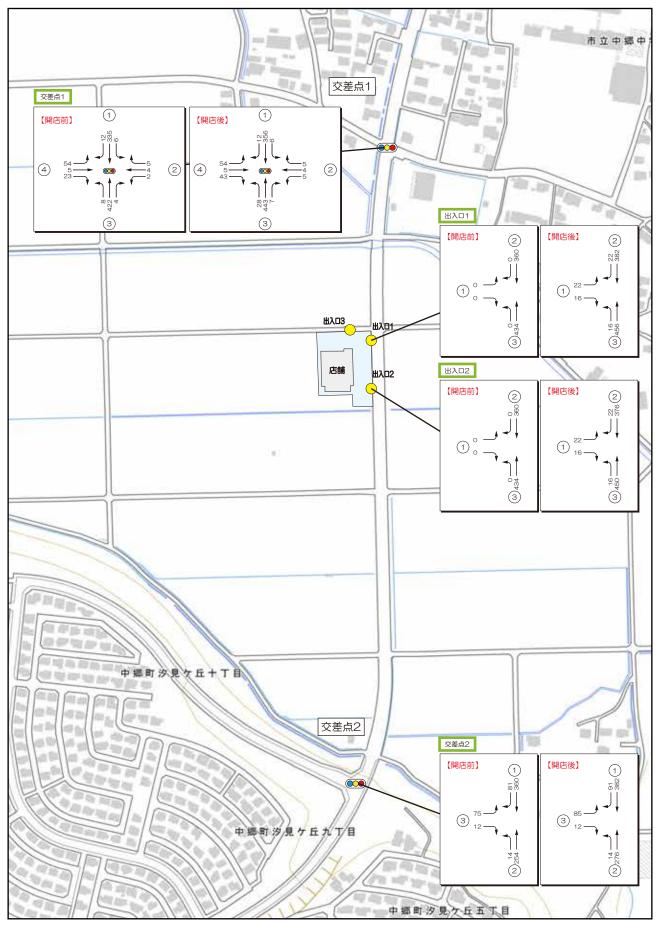
図表 4-1 交通量の設定根拠

項目	設定内容
開店前交通量	<ul> <li>▼交差点 1~2···下記交通量調査結果</li> <li>平日:2025年6月9日(月)6:00~21:00 実施</li> <li>休日:2025年6月8日(日)6:00~21:00 実施</li> <li>■出入口1~2が面する道路···交差点2の交通量調査結果から設定</li> <li>■出入口3が面する道路···一般交通量が少ないため検討対象外とした。</li> </ul>
開発交通量	図表 3-3 参照
開店後交通量	開店前交通量+開発交通量
影響評価 検討時間帯	交差点交通量のピーク時間を影響評価時間帯とした。 交差点 1…平日 17 時台、休日 10 時台 交差点 2…平日 17 時台、休日 16 時台
車種区分	普通車 ナンバープレートの頭番号:3, 4, 5, 6, 7 大型車 ナンバープレートの頭番号:1, 2, 9, 0 ※8 ナンバーは実態に応じ、それぞれ区分した。



地理院タイル(国土地理院)を利用して作成

図表 4-2 開店前後の交通量の比較 (平日ピーク時間) 交通-7



地理院タイル(国土地理院)を利用して作成

図表 4-3 開店前後の交通量の比較 (休日ピーク時間) 交通-8

#### 4.2 交通処理能力の検討方法

① 店舗出入口における交通処理能力

店舗出入口における交通運用は、信号処理のない一時停止制御による交通運用(非優先 交通が優先交通の間隙をぬって交差または合流するように制御する交通運用)に該当す る。下記計算式により交通処理能力を検討した(パラメータは、図表 4-4 参照)。

交通容量とは、非優先交通が通行可能な最大交通量であることから、計画交通量が交通容量以下の場合は、周辺交通への影響が小さいと判断した。

$$c_x = Q_x \frac{\exp(-Q_x g_x)}{1 - \exp(-Q_x h_x)}$$

こって

Cx: 従道路流入部の方向別(x は直進,右折,左折の別)の交通容量[台/秒]

 $Q_x$ : 従道路のx方向交通と交錯する交通需要 $(V_i)$ の総和 [台/秒]

V<sub>i</sub>: 従道路の x 方向交通と交錯する方向別の交通需要〔台/秒〕

 $g_x$ : 従道路のx方向交通が通過可能と判断する交通需要 $Q_x$ の最小ギャップ(臨界ギャップ)[秒]

 $h_x$ : 従道路の x 方向交通が同一ギャップを 2 台連続して通過できるときの追従車頭時間 [秒]

【「平面交差の計画と設計」基礎編 p135 式 3.2.2】

図表 4-4 一時停止交差点における基本臨界ギャップと追従車頭時間(HCM2010 の例)

	基本臨界ギ	ヤップ(秒) <i>g<sub>x</sub></i>	
交通流	2 車線道路 (主道路)	4 車線道路 (主道路)	基本追従車頭時間(秒)hx
	(工足岬)	(工地間)	
主道路(優先交通)からの右折	4. 1	4. 1	2. 2
従道路(非優先交通)からの左折	6. 2	6. 9	3. 3
従道路(非優先交通)の直進	6. 5	6. 5	4.0
従道路(非優先交通)からの右折	7. 1	7. 5	3. 5

※出典資料は米国方式(右側通行)であるため、左側通行に修正した。

#### ② 信号交差点における交通処理能力

信号交差点においては、交差点需要率・交通容量比等を算出し、交通処理能力を検討した。

# 4.3 交通処理能力の検討結果

周辺交差点の交通解析結果を図表 4-5~図表 4-8 に示す。

図表 4-5 交通処理能力の検討結果

項目	検討結果
	■ 需要率基準以下であり影響小
交差点 1~2	■ 交通容量比…基準以下であり影響小
	上記から、周辺交通への影響は小さいと考えられる(図表 4-6 参照)。
III 7 1 . 0	■ 交通容量比…基準以下であり影響小
出入口 1~2	上記から、周辺交通への影響は小さいと考えられる(図表 4-6 参照)。

### 図表 4-6 信号交差点の交通解析結果

# ■交差点1

検討 時間帯	需要 (平日基準( (休日基準(	). 896以下)	方向	車線	交通名 (基準1.		備考
	開店前	開店後			開店前	開店後	
平日ピーク			1	左直右	0. 433	0.454	来店経路
17時台 サイクル長 96秒	0. 338	0. 377	2	左直右	0.032	0.039	来店経路
	0. 556	0.577	3	左直右	0.489	0. 535	退店経路
			4	左直右	0.168	0. 207	来店経路
休日ピーク			1	左直右	0. 287	0.304	来店経路
10時台	0. 272	0.311	2	左直右	0.028	0.037	来店経路
10時台 サイクル長	0.212	0.311	3	左直右	0.343	0.383	退店経路
78秒			4	左直右	0. 227	0. 287	来店経路

### ■交差点2

検討 時間帯	需要 (平日基準( (休日基準(	). 889以下)	方向	車線	交通名 (基準1.	備考	
	開店前	開店後			開店前	開店後	
			(1)	直	0. 237	0. 252	退店経路
平日ピーク 17時台 サイクル長 90秒			1)	右	0.143	0.162	退店経路
	0.314	0.330	2	左直	0.393	0.408	来店経路
			3	左	0.142	0.181	来店経路
			0	右	0.050	0.050	
			(1)	直	0.326	0.346	退店経路
17時台 サイクル長 90秒 休日ピーク			(I)	右	0.111	0. 129	退店経路
	0. 224	0. 240	2	左直	0.246	0. 266	来店経路
17時台 サイクル長 90秒			3	左	0.139	0. 157	来店経路
			0)	右	0.022	0.022	

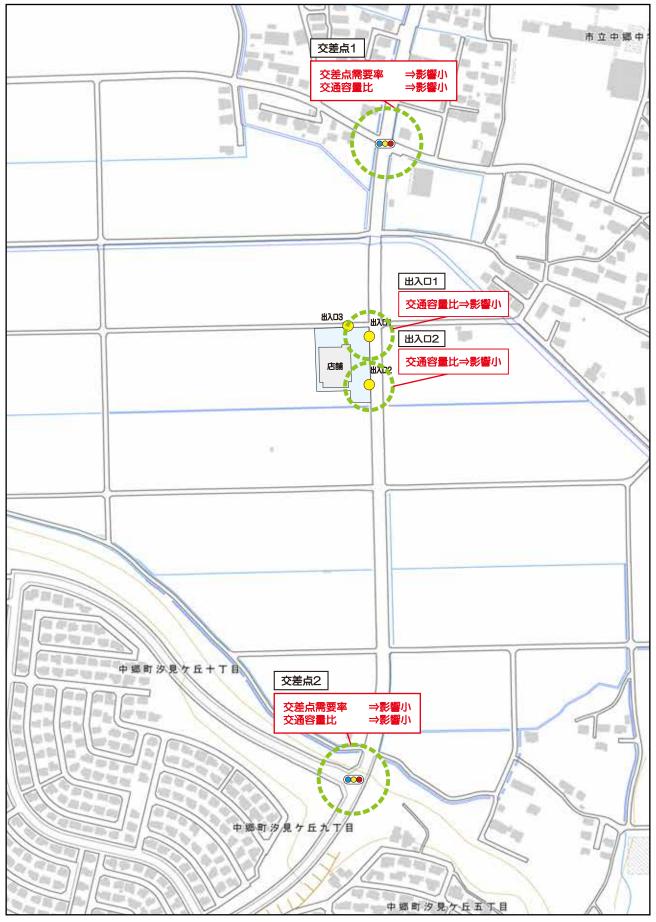
# 図表 4-7 駐車場出入口の交通解析結果

# ■出入口1 解析結果

		交通量 (台/時)	Qx (台/秒)	gx (秒)	hx (秒)	交通容量 (台/時)	交通容量差 (台/時)	交通 容量比	評価
平日	主道路(流入部②)からの右折	22	0. 166	4. 1	2. 2	990	968	0.022	ОК
ピーク 17時台	従道路(流入部①)からの左折	22	0. 161	6. 2	3. 3	518	496	0.042	ОК
開店後	従道路(流入部①)からの右折	16	0.304	7. 1	3. 5	194	178	0. 082	ОК
休日	主道路(流入部②)からの右折	22	0. 131	4. 1	2. 2	1, 101	1, 079	0. 020	ОК
ピーク 10時台	従道路(流入部①)からの左折	22	0. 127	6. 2	3. 3	608	586	0.036	ОК
開店後	従道路(流入部①)からの右折	16	0. 239	7. 1	3. 5	277	261	0.058	ОК

### ■出入口2 解析結果

		交通量 (台/時)	Qx (台/秒)	gx (秒)	hx (秒)	交通容量 (台/時)	交通容量差 (台/時)	交通 容量比	評価
平日	主道路(流入部②)からの右折	22	0. 164	4. 1	2. 2	993	971	0. 022	ОК
ピーク 17時台	従道路(流入部①)からの左折	22	0. 160	6. 2	3. 3	521	499	0.042	ОК
開店後	従道路(流入部①)からの右折	16	0.300	7. 1	3. 5	198	182	0. 081	ОК
休日	主道路(流入部②)からの右折	22	0. 129	4. 1	2. 2	1, 108	1, 086	0. 020	ОК
ピーク 10時台	従道路(流入部①)からの左折	22	0. 125	6. 2	3. 3	612	590	0. 036	ОК
開店後	従道路(流入部①)からの右折	16	0. 236	7. 1	3. 5	284	268	0.056	ОК



地理院タイル(国土地理院)を利用して作成

図表 4-8 交通解析結果のまとめ

## 4.4 必要駐車待ちスペース

図表 4-9 に、駐車場の入口における必要駐車待ちスペースを示す。

図表 4-9 駐車場入口の必要駐車待ちスペース

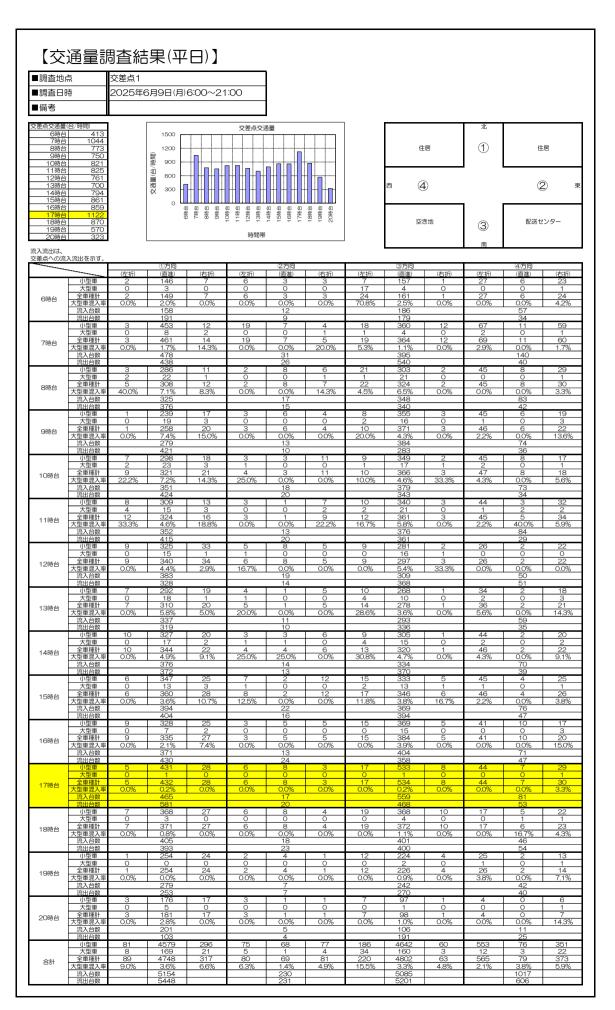
	来客車両来	台数	入庫処理 可能台数	入庫処理 可能台数	必要駐車待	ちスペース(m)	評価
	台/ピーク時間	台/分	(台/時間)	(台/分)	計画値	計算結果	計加
出入口1	38	0.63	450	7.5	5	-39.0	0
出入口2	38	0.63	450	7.5	5	-39.0	0
出入口3	-	-	450	7.5	5	-	-

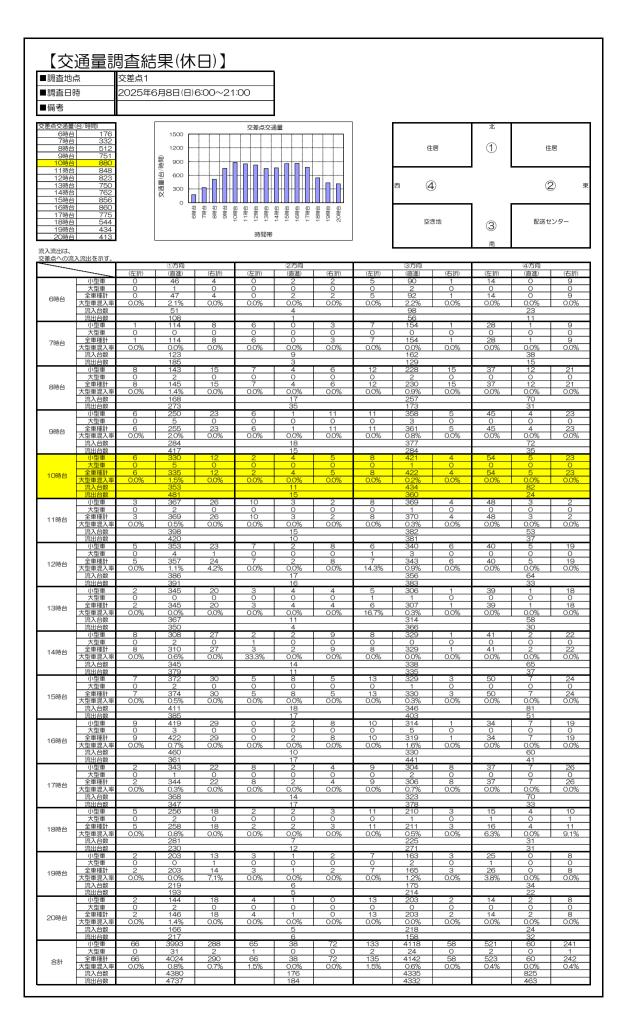
- 【注1】(必要駐車待ちスペース)=(当該入口の1分当たりの来台数×1.6
  - -当該入口の1分当たりの入庫処理可能台数)×6(m:平均車頭間隔)
- 【注2】入庫処理能力は、ゲート有り・平面自走式駐車場の入庫処理能力(指針により8秒/台)を使用。
- 【注3】必要駐車待ちスペースの計画値は、出入口から車両進入後に優先車線と交差する位置までの 距離とした。
- 【注4】出入口3は一般交通量が少ないため検討対象から除外した。

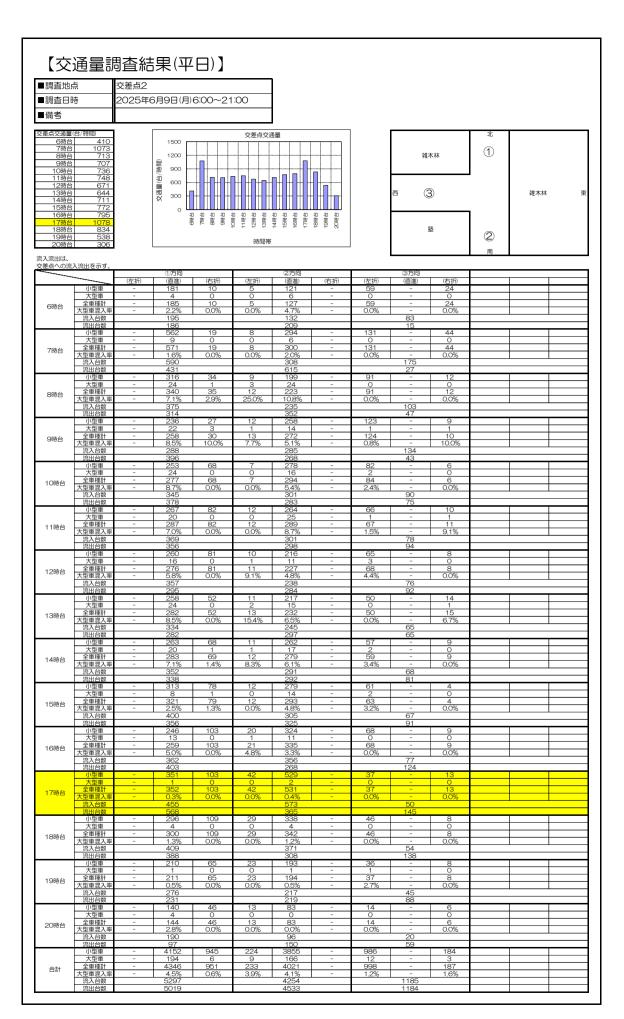
図表 4-9 から、(計画値>必要駐車待ちスペースの計算結果)となっており、必要駐車 待ちスペースは問題ないと考えられる。

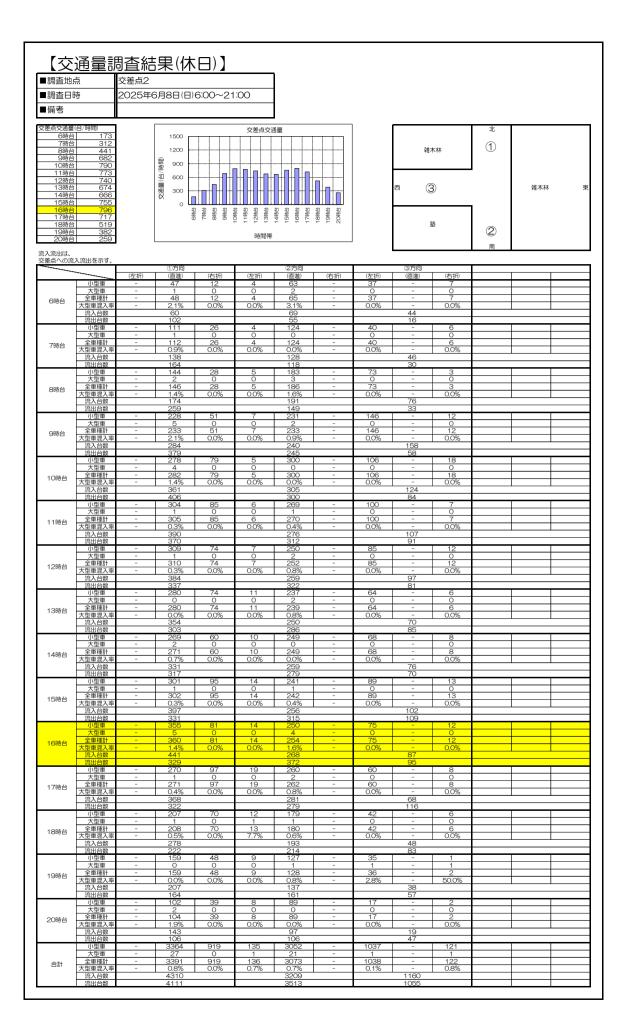
以上の検証結果から、周辺道路の交通処理・出入口の処理に問題はないと考えられるが、混雑が予想される日等には、状況に応じて誘導員配置等の対応を行い、混雑緩和に努めることとする。

# 交通量調査結果









# 交通解析計算書

検討用資料 『交差点1 平日開店前』 表-1 交差点の需要率の算出

 $\Theta$ 

交差点概略図

(3)	左折印			1,000 0.950	(3.30) (2.75)		(0.00) (0.00)	0, 999		0.994	(3.0) (54.3)			0.986	(1.4)	0.632	99		1	1, 958 1, 538		(1/+534+8) (44+/+30) (1/+534+8) (44+/+30) (1/+534+8) (44+/+30) (1/+534+8) (44+/+30) (1/+534+8) (1/+54+8+8) (1/+534+8) (	0. 285	0.053 0.053	56.0 サイクル長(秒)	30.0	1 149 481	0
	左折·直進·右折 左折·直進·右折	_	2,000 2,000	1.000 0.950	(3.30) (2.75)	1.000 1.000	(0.00) (0.00)		(0.22) (0.00)		(1.1) (35.3)			0.924 0.981	(6.0) (17.6)			96 96		1,841 1,676		(5+432+28) (6+8+3) 0 253 0 010	0.253	0.010	56.0	30.0	1,074 524	0, 433 0.032
流入部	車線の種類	車線数	飽和交通流率の基本値 SB	車線幅員による補正率 α w	(車線幅員) m	σ	(統断勾配) %	を	(大型車混入率) %	8	(左折率) L%	· F	(歩行者現示時間) 秒	な	(右折率) R%			(サイクル長) 秒	交差点内滞留台数 K	飽和交通流率S	設計交通量 d	が 流入部各車線の需要率		- B おぶの指数争 2 Φ 2 Φ	10 10 10 11 10 11 10 11 10 11 10 11 10 11 10 11 11		可能交通容量Ci	交通容量比 q/Ci

交通量図

4 2. 75

※ \*: 交通容量(台/実1時間)

上段:方向別合計交通量[台/時] 下段:(大型車混入台数)[台/時] ② **↓**∞

② œΘ ±8 ₹8 **‡** ₩8 現示方式の図示 **~**@ 40 ೫≘ 4

9			l
96=0	98=9	L=10	
G:29 Y:3 AR:3	98	9	27
G:55 Y:3 AR:3	56	5	53
表示時間	有効青時間	損失時間	歩行者 現示時間
	G:55 Y:3 AR:3 G:29 Y:3 AR:3	G:55 Y:3 AR:3 G:29 Y:3 AR:3 56 30	G:55 Y:3 AR:3 56 5 5 5 5

<sup>※</sup> 交差点需要率 上限値 (C-1)/C = (96 - 10)/96 = 0.896 C:サイクル長(秒)、L:損失時間(秒)

検討用資料 『交差点1 平日開店後』 表-1 交差点の需要率の算出

																					F	現示い需要率 <u>父走</u> 品の需要率	T	イクル長(	90	96				
<b>(</b>	左折·直進·右折	1	2,000	0.950	(2.75)	1,000	(0.00)	0.993	(0.99)	0.873	(43.6)			0.948	(49.5)	0.992	30	96		1,561		(44+/+50) 現力	0.000	0.065		30.0	488	0.207	OK	
@	左折·直進·右折	1	2,000	1,000	(3.30)	1,000	(0.00)	0, 999	(0.17)	0.986	(6.1)			0.981	(1.8)	0.621	56	96	1	1, 933	603	(3/+555+11)	0.312		56.0		1, 128	0, 535	OK	
8	左折·直進·右折	1	2,000	0.950	(2.75)	1.000	(0, 00)	1,000	(0.00)	0.870	(45.0)			0.984	(15.0)	0.993	30	96	1	1,627	20	(9+8+3)	0.014	0.012		30.0	508	0.039	OK	
0	左折·直進·右折	1	2,000	1,000	(3, 30)	1,000	(00.00)	0.999	(0.21)	866.0	(1.0)			0.921	(5.8)	0.565	56	96	1	1,836	486	(5+453+28)	0.265		56.0		1,071	0.454	OK	
																							1 φ	2φ	1φ	2 φ				
流入部	車線の種類	車線数	飽和交通流率の基本値 SB	車線幅員による補正率 α w	(車線幅員) m	2補正率 α	(縦断勾配) %	大型車混入による補正率 αT	(大型車混入率) %	こよる補正率 α		<b>固確率</b> )	(歩行者現示時間) 秒	松松		1確率)		(サイクル長) 秒	.,	飽和交通流率	設計交通量	<b>始户最阳</b> 荥	近く 野口 サ家ク 国火 十五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	<b>現示の帯要率</b>	右州書時間(孙)	13 XJ F 14 HJ (12)	量	交通容量比 q / C i	交通容量の照査結果	滞留長 $L s (m)$
	<u>r '</u>	1 1	1	- 1		ME				1 4				111							111111	_	· 通					1	(- > 1)	-,7-

4 2. 15

 $\Theta$ 

交差点概略図

上段:方向別合計交通量[台/時] 下段:(大型車混入台数)[台/時] 

+ 40

4

32

交通量図

現示方式の図示

	96=O	98=9	L=10	
2¢ 0	G:29 Y:3 AR:3	30	9	72
φ1 φ1 φ1 φ1 φ1 φ1	G:55 Y:3 AR:3	56	5	53
現示	表示時間	有効青時間	損失時間	歩行者 現示時間

		(秒)
	= 0.896	: 損失時間
上液值	- 10) / 96	(秒)、L:
父走点需要率 上顶	96) = 0/(T-0)	サイクル長
* 公売	ථ	: )

※ \*:交通容量(台/実1時間)

検討用資料 『交差点』 休日開店前』 <sub>表</sub>—1 交差点の需要率の算出

																					.		イクル長	78	0				
④ 左折·直進·右折	9 000	0.950	(2, 75)	1,000	(0.00)	1.000	(0.00)	0.850	(62.9)				0.970	(28.0)	0.996	18	78	1	1,567	82	0.052		0.052		18.0	362	0.227	OK	
③ 左折·直進·右折	1 9 000	1,000	(3.30)	1,000	(0.00)	0.998	(0.23)	966 '0	(1.8)				0, 994	(0.9)	0.702	20	78	1	1, 976	434	0.220	0.220		50.0		1, 267	0, 343	УΟ	
② 左折·直進·右折	9 000	0.950	(2, 75)	1,000	(00,00)	1,000	(0.00)	0.947	(18.2)				0.952	(45.5)	0.995	18	78	1	1,713	11	0.006		0.006		18.0	395	0.028	OK	
① 左折·直進·右折	9 000	1,000	(3, 30)	1,000	(00.00)	0.690	(1.42)	0.997	(1.7)				0.971	(3.4)	0.638	20	78	1	1,917	353	0.184	0, 184		50.0		1,229	0.287	OK	
																						1φ	2φ	1φ	2 φ				
流入部 車線の種類 <sub>車の粉</sub>	甲漱数 的和容诵流率の基本値 S.B.		(車線幅員) m	σ	(縦断勾配) %	南正率 α	(大型車混入率) %	こよる補正率 α		(料 ()	(有効青時間) 秒		α A	(右折率) R%			(サイクル長) 秒	:差点内滞留台数 K	飽和交通流率S	設計交通量 q	流入部各車線の需要率	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<b>弘小</b> の北 歌 浄	左始書時間(私)		可能交通容量 C i	交通容量比 q/Ci	交通容量の照査結果	是
流入部事線の事業の事業の事業を	甲棘数	車線車		統断4	<b>逐</b>	大型氧	D	左折事	7	(4	*	(Z	右折車	7	7	*	Ŧ)	交差点	飽和ろ	設計3		通				可能3	交通	交通	滞留長

4 2. 75 + 11

 $\Theta$ 

交差点概略図

※ 交差点需要率 上限値 (C-1)/C = (78 - 10)/78 = 0.872 C:サイクル長(秒)、L:損失時間(秒)

※ \*:交通容量(台/実1時間)

現示方式の図示

上段:方向別合計交通量[台/時] 下段:(大型車混入台数)[台/時]

40

(m)

**(3)** 

4<u>©</u> 92

> 92 + 93

4

280

交通量図

**(9)** 

(0)

	C=78	89=9	L=10	
2 ¢ 0	G:17 Y:3 AR:3	18	9	15
2 1 0 φ <sub>1</sub>	G:49 Y:3 AR:3	20	5	47
現示	最示時間	有効青時間	損失時間	歩行者 現示時間

検討用資料 『交差点』 休日開店後』 <sub>表</sub>-1 <sup>交差点の需要率の算出</sup>

																						現示の需要率 父左点の需要率 0.945 0.211		イクル長	78	97				
(4)	左折·直進·右折	1	2,000	0.950	(2.75)	1.000	(0, 00)	1.000	(0.00)	0.850	(52.9)			0.956	(42.2)	0.996	18	78	1	1,544		(54+5+43)	000.0	0.066		18.0	356	0.287	OK	
@	左折·直進·右折	1	2,000	1,000	(3.30)	1,000	(0.00)	0, 999	(0.21)	0.986	(2.9)			0.989	(1.5)	0.685	20	78	1	1, 948	478	(28+443+1)	0. 245		50.0		1, 249	0.383	OK	
8	左折·直進·右折	1	2,000	0.950	(2.75)	1,000	(0, 00)	1,000	(0.00)	0.897	(35.7)			0.962	(35.7)	0.995	18	78	1	1,640	14	(5+4+5)		0.009		18.0	378	0.037	OK	
$\in$	左折·直進·右折	1	2,000	1,000	(3.30)	1,000	(0.00)	0.991	(1.34)	0.997	(1.6)			0.971	(3.2)	0.626	20	78	1	1,919	374	(6+356+12)	0.195		50.0		1,230	0.304	OK	
																							1φ	2φ	1φ	2φ				
流入部	車線の種類	車線数	飽和交通流率の基本値 SB	車線幅員による補正率 α w	(車線幅員) m	2補正率 α	(統断勾配) %	衛正率 α	(大型車混入率) %	有正率 α		(料 (利	(有効青時間) 秒	α A	(右折率) R%			(サイクル長) 秒	交差点内滞留台数 K	飽和交通流率S	設計交通量 d	第0番甲数	17、17 1 十多7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<b>丸ホの帯</b> 要率	右州事時間(孙)	月 ※ 月 吋   月 (小)	可能交通容量Ci	交通容量比 q/Ci	交通容量の照査結果	滞留長 T s (m)
<i>2</i> 5€	- I Imil	Imi	<b>4</b> □7	1441		썊		17		7				14					ΚI	氰	1]1122		· 通		-	_	1=	V.)	K1	15-

4 2. 75 + 11

 $\Theta$ 

交差点概略図

上段:方向別合計交通量[台/時] 下段:(大型車混入台数)[台/時] 288 289 **4**9 (0)

**~**@

※ 交差点需要率 上限値 (C-1)/C = (78 - 10)/78 = 0.872 C:サイクル長(秒)、L:損失時間(秒)

※ \*:交通容量(台/実1時間)

**(3)** 

92 + 86

4

280

92

© (\*\*\*) (\*\*\*

交通量図

40 (0)

	C=78	89=9	L=10	
2 ¢	G:17 Y:3 AR:3	18	9	15
φ <sub>1</sub> φ <sub>1</sub> φ <sub>2</sub> φ <sub>3</sub> φ <sub>4</sub> φ <sub>4</sub> φ <sub>5</sub> φ <sub>7</sub> φ <sub>8</sub> φ <sub>7</sub> φ <sub>8</sub> φ <sub>8</sub> φ <sub>8</sub> φ <sub>9</sub>	G:49 Y:3 AR:3	50	5	47
現示	鼠钟坐肇	胃細青松青	損失時間	歩行者 現示時間

現示方式の図示

				_
20	G:17 Y:3 AR:3	18	9	15
\$\frac{1}{4}\$	G:49 Y:3 AR:3	50	5	47
現示	表示時間	有効青時間	損失時間	歩行者 現示時間

検討用資料 『交差点2 平日開店前』 表-1 交差点の需要率の算出

						交差点の需要率	0.314 ≤0.889	サイクル長(秒)	06			
						現示の需要率	0. 293	サイク	<del></del>		<u> </u>	I
③ 右折 1,800 1,000 (3.00)	1. 000 (0. 00) 1. 000 (0. 00)			1, 800	13	0.007	0.007		13.0	0.050	OK	4.3
度折 1 1,800 1.000 (3.00)	1. 000 (0. 00) 1. 000 (0. 00)			1, 800	37	0.021	0.021		13.0	0.142	OK	12.2
② 左折·直進 1 2,000 1.000 (3.00)	1. 000 (0. 00) 0. 998 (0. 35)	0. 981 (7. 3)		1, 958	573 (42+531)	0. 293	0. 293	67.0	1, 458	0.393	OK	
入 有折 1 1,800 1.000 (2.75)	1.000 (0.00) 1.000 (0.00)			1 *718	103	1	ı	67.0	718	0.143	OK	32. 3
直進 1 2,000 1.000 (3.00)	1.000 (0.00) 0.998 (0.28)			1. 996	352	0.176	0.176	67.0	1, 486	0, 237	OK	
						-	2 0 0	1φ	2ф			
本義の 車線の種類 車線の 連線を 連続を 連続で 車線幅員による補正率 α w 「車線幅員) エター エター エカー エカー エカー エカー エカー エカー エカー エカー エカー エカ	総断勾配による補正率 α G (統断勾配) % 大型車混入による補正率 α T (大型車混入率) % 七五事鬼 1 r r z 対 r z が 1 r z 対 r z が 1 r z 対 r z が 1 r z 対 r z が 1 r z が x z x x x x x x x x x x x x x x x x		右折車混入による補正率 αRT (右折率) R% (右折車の通過確率) fR (有効青時間) 秒 (サイクル長) 秒	交差点内滞留台数 K 飽和交诵流率 S		入部各車線の需要率	<b>需要率</b>	有効書時間(秒)	语句》 第容量 Ci	量比 q/Ci	交通容量の照査結果	L s (m)
流入部 車線の種類 車線数 飽和交通流 車線幅員に (車線幅	終 大型 (終 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	在 若 無在在(を)	交差点内滞留 飽和交涌流率		润	<b>更</b>   現示の需要率	-		交通容量比	交通容量	滞留長

交通量図

\$**9 Y** 63

<u></u>

上段:方向別合計交通量[台/時] 下段:(大型車混入台数)[台/時]

© <del>7</del> © <del>0</del>

※ 交差点需要率 上限値 (C-1)/C = (90 - 10)/90 = 0.889 C:サイクル長(秒)、L:損失時間(秒)

※ \*:交通容量(台/実1時間)

		06=0	08=9	L=10	
	20	G:12 Y:3 AR:3	13	9	10
もの図示		G:66 Y:3 AR:3	<i>L</i> 9	9	64
現示方式の図示	現示	表示時間	有効青時間	損失時間	歩行者 現示時間

検討用資料 『交差点2 平日開店後』 表-1 交差点の需要率の算出

⊕ <u>£</u>;

交通量図

※ 交差点需要率 上限値 (C-1)/C = (90 - 10)/90 = 0.889 C:サイクル長(秒)、L:損失時間(秒)

※ \*:交通容量(台/実1時間)

現示方式の図示

	0 <del>=</del> 0	08=9	L=10	
2φ 3 2 2 2	G:12 Y:3 AR:3	13	2	10
φ <sup>1</sup>	G:66 Y:3 AR:3	19	9	64
現示	最示時間	有効青時間	損失時間	歩行者 相示時間

**Y** |20 64

<u></u>

検討用資料 『交差点2 休日開店前』 表-1 交差点の需要率の算出

交通量図

93

~ <u></u>

※ 交差点需要率 上限値 (C-1)/C = (70 - 10)/70 = 0.857 C:サイクル長(秒)、L:損失時間(秒)

※ \*: 交通容量(台/実1時間)

現示方式の図示

上段:方向別合計交通量[台/時] 下段:(大型車混入台数)[台/時]

	C=70	09=9	L=10	
94 94	G:20 Y:3 AR:3	21	9	18
φ_ 	G:38 Y:3 AR:3	39	5	36
現示	表示時間	有効青時間	損失時間	歩行者 現示時間

検討用資料 『交差点2 休日開店後』 表-1 交差点の需要率の算出

																					田子の帰田家   次共片の帰田家			サイクル長(秒)	02	0,1				
	右折	1	1,800	1.000	(3.00)	1.000	(00.00)	1.000	(00.00)											1,800	12	0.007		0.007		21.0	540	0.022	OK	3.1
©	左折	1	1,800	1,000	(3.00)	1,000	(0.00)	1,000	(00.00)											1,800	82	0.047		0.047		21.0	540	0.157	OK	21.8
3	左折·直進	1	2,000	1,000	(3.00)	1,000	(0.00)	0.990	(1.38)	0.66.0	(4.8)									1,960	290	0.148	0, 148		39.0		1,092	0.266	OK	
	右折	1	1,800	1.000	(2.75)	1.000	(00.00)	1.000	(00.00)										1	*707	91	1	1		39.0		707	0.129	OK	23. 4
(I)	直進	1	2,000	1.000	(3.00)	1.000	(00.00)	0.991	(1.31)											1,982	382	0. 193	0.193		39.0		1,104	0.346	OK	
流入部	車線の種類	車線数	飽和交通流率の基本値 SB	車線幅員による補正率 αw	(車線幅員) m	2 横正率	(統断(勾配) %	増正率 α	(大型車混入率) %	左折車混入による補正率 α L T		<b>固確率</b> )	(有効青時間) 秒	寺間)	こよる補正率 α	(右折率) R%	3確率)	(有効青時間) 秒	交差点内滞留台数 K	飽和交通流率 S S	設計交通量 q	☆ 流入部各車線の需要率		現示の需要率 2φ	<b>2</b>		可能交通容量Ci	交通容量比 q/Ci	交通容量の照査結果	滞留長

⊕ <del>Z</del> 889

交通量図

※ 交差点需要率 上限値 (C-1)/C = (70 - 10)/70 = 0.857 C: サイクル長(秒)、L:損失時間(秒)

※ \*:交通容量(台/実1時間)

上段:方向別合計交通量[台/時] 下段:(大型車混入台数)[台/時]

0

(0) (14) (0) (0) (14) (0)

912

982

 $|\Upsilon|$ (m)

	C=70	09=9	L=10	
2¢	G:20 Y:3 AR:3	21	9	18
φ1 Θ Δ Δ Θ Δ	G:38 Y:3 AR:3	68	9	36
現示	表示時間	有効青時間	損失時間	歩行者 現示時間

胀
×
6
出
七
帐
盟

2φ γ <sub>Θ</sub>	₩
⊕ ⊕ ⊕	<b>→ '7</b>
現示	

上段:方向別合計交通量[台/時] 下段:(大型車混入台数)[台/時]

検討用資料 一時停止交差点の方向別交通流の横断可能容量検討 (「平面交差の計画と設計」基礎編(5018年版)b135~) 『出入ロ1 平日開店後』

		評価
		交通容量比
		交通容量差
		交通容量
]	計価	
	容量、高	
1	横断可能	実交通量
1	表-1	

(N)

交差点概略図

_				
評価		OK	ΟK	ΟK
交通容量比	Mn / Cpx	0.022	0.042	0.082
交通容量差	Cpx-Mn	896	496	178
交通容量	Cpx	066	218	194
	hx	2.2	3.3	3.5
	gx	4.1	6.2	7.1
	Qx	0.166	0.161	0.304
実交通量	Mn	22	22	16
	No	1	2	3

No.1:主道路(流入部②)からの右折 No.2:従道路(流入部①)からの左折 No.3:従道路(流入部①)からの右折

交通-29

 $\odot$ 

3-00

3.00

上段:方向別合計交通量[台/時] 下段:(大型車混入台数)[台/時]

検討用資料 一時停止交差点の方向別交通流の横断可能容量検討 (「平面交差の計画と設計」基礎編(5018年版)b135~) [出入口1 休日開店後]

			O K	OK	ΟK
	交通容量比	Mn / Cpx	0.020	0.036	0.058
	交通容量差	Cpx-Mn	1,079	989	197
	交通容量	Cpx	1,101	809	222
		hx	2.2	3.3	3.5
軍		gx	4.1	6.2	7.1
陆		$Q_{\rm X}$	0.131	0.127	0.239
横断可能容量	実交通量	Mn	22	22	16
表-1		No	1	2	3

(N)

交差点概略図

3.00

No Mn 4x 8x hx Cpx Cpx-Mn Mn 1 22 0.131 4.1 2.2 1,101 1,079 0 0 2 2 0.127 6.2 3.3 608 586 0 0 3 16 0.239 7.1 3.5 277 261 0 0 No. 1: 主道路(流入部 ②)からの右折 No. 2: 従道路(流入部 ③)からの右折 No. 3: 従道路(流入部 ①)からの右折

<b>(2)</b>	€288		85€ <b>₹</b>	$\odot$
	- GS		920	
⊠ mlmil	33	19 <b>Y</b> 29		
公通		$\overline{\ominus}$		
₩				

交通-30

<u>\_</u>e 0

上段:方向別合計交通量[台/時] 下段:(大型車混入台数)[台/時]

一時停止交差点の方向別交通流の横断可能容量検討 (「平面交差の計画と設計」基礎編(2018年版)b135~) 『出入ロ2 平日開店後』 検討用資料

	_		_		_
	計価		ΟK	ΟK	OK
	交通容量比	Mn / Cpx	0.022	0.042	0.081
	交通容量差	Cpx-Mn	971	499	182
	交通容量	Cpx	666	521	861
		hx	2.2	3.3	3.5
用		gx	4.1	6.2	7.1
容量、評		Qx	0.164	0.160	0.300
横断可能容	実交通量	Mn	22	22	16
表-1		No	1	2	3

(N)

交差点概略図

		からの右折 からの左折	$\widehat{\otimes}\widehat{\ominus}$	(流入部)流入部	 	注 (注 (注 (注 (注 (注 (注 (注 (注 (注 (	No. 1 :	
0.08	182	198	3.5	7.1	0.300	0.	16	3
0.04	499		3.3	6.2	0.160	0.	22	2
0.02	971	666		4.1	164	0.	22	1
Mn /	Cpx−Mn		ΝX	gx	ŲX	_	Mn	N٥

 $\bigcirc$ (1)  $\odot$ **7** <u>90</u> 92 92 交通量図  $\Theta$ 

No.3: 従道路(流入部 ①) からの右折

 $\odot$ 

3.00

3.00

上段:方向別合計交通量[台/時] 下段:(大型車混入台数)[台/時]

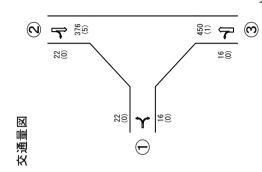
一時停止交差点の方向別交通流の横断可能容量検討 (「平面交差の計画と設計」基礎編(2018年版)b135~) 『出入ロ2 休日開店後』 検討用資料

里、叶伽							
				交通容量	交通容量差	交通容量比	點便
Qx g	gx		hx	Cpx	Cpx-Mn	Mn / Cpx	
0.129 4.		1 2	2.2	1, 108	1,086	0.020	УΟ
0.125   6.2		2 3	3.3	612	069	0.036	УΟ
. 236 7.		1 3	5.5	284	897	0.056	ΝО

(N)

交差点概略図

	H 国 ス ド	-11			人面ケー	人面在馬丘	イ百ケ甲と	늘
No	Mn	Qx	gx	hx	Cpx	Cpx-Mn	Mn / Cpx	
I	22	0.129	4.1	2.2	I	1,086	0.020	OF
2	22	0.125	6.2	3.3	612	069	0.036	OF
3	16	0.236	7.1	3.5	284	897	0.056	OF
	No. 1 :	主道路(沪	(流入部	(S)	からの右折			



 $\odot$ 

3.00

3.00